

令和3年度 マルヤマ保育所 職員自己評価

チェックリストについて

高槻市の通達により作成、実施を行いました。これは保育士本人の保育に対する気持ちの向き合い方を「気づき」という形で考えること、園の保育方針、研修の参考にすること、公表することにより自園の更なる改善を意識して努力していきます。

回答人数を%で表示しました（常勤職員は全員含みます）

〈基本項目〉

		高・・・中・・・低			
1	保育の基本（保育指針等）を理解している	22	67	11	0
2	マルヤマ保育所の理念や保育目標を理解している	33	56	11	0
3	園の全体的な計画を理解している	33	45	22	0
4	定期的に自己改善に努めている	22	56	22	0
5	保育の計画や実践に向けて創意工夫に努めている	45	11	33	11
6	自分の保育の良さを課題を認識している	11	56	33	0
7	保育雑誌や専門書を読んだり、保育の情報を集めている	34	11	33	22
8	業務上知り得た個人情報などの秘密を守っている	100	0	0	0

〈子どもとの関り〉

		高・・・中・・・低			
1	一人ひとりの発達を理解して接している	56	44	0	0
2	一人ひとりの生理的な欲求が満たされるように配慮している	56	33	11	0
3	登園時に優しく声を掛けるなど、状況に応じて対応してる	67	33	0	0
4	わかりやすい言葉でおだやかに話しかけている	50	40	10	0
5	子どもが何を求めているのか常に配慮して接している	50	30	20	0
6	言葉にならないサインを理解するよう努めている	40	40	20	0
7	静止やせかしたりの言葉を不必要に使わず対応している	34	33	33	0
8	「あとで」等と待たせずなるべくその場で対応している	22	34	33	11
9	食事や排泄などの生活に必要な活動に自ら取り組むように配慮している	33	67	0	0
10	食事やおやつを楽しめる雰囲気作りをしている	44	56	0	0
11	偏食や食べ残しを直す為、過度に叱らないよう配慮している	44	56	0	0
12	トイレの後や食前の手洗いなど、清潔にする習慣が身につくように働きかけている	78	11	11	0
13	体を動かすことを楽しむように働きかけている	44	56	0	0
14	危険を意識して行動するように安全について指導している	67	33	0	0
15	友達との関わりで、友達の良さを気付くようにしている	56	33	11	0

16	子ども同士、互いの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している	67	33	0	0
17	順番を守るなどのルールが身につくように配慮している	78	22	0	0
18	共有の道具や道具を大事にすることを伝えている	78	11	11	0
19	人と心が通じ合う喜びを伝えるように接している	56	44	0	0
20	異年齢の子どもと関わることを大切にしている	56	44	0	0
21	地域の人や高齢者と親しむ機会をつくっている	11	45	11	33
22	家族の愛情に気付き、家族を大切にしようという気持ちを育てている	45	44	11	0
23	美しいものに感動したり、イメージを広げたりする機会をつくっている	34	33	33	0
24	歌ったり踊ったりすることを楽しめるようにしている	56	22	22	0
25	様々な素材や道具と接し自分で工夫し遊べるようにしている	34	22	33	11
26	子どもの作品を大切に扱い工夫して飾っている	34	22	22	22
27	正しく丁寧な言葉で話しかけている	11	67	22	0
28	「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉を相手の気持ちを大切に して使っている	45	44	11	0
29	解らない事を子どもが安心して聞ける雰囲気をつくっている	45	33	22	0
30	読み聞かせの時には言葉の楽しさ等が伝わるようにしている	56	33	11	0

〈保育環境〉

		高・・・中・・・低			
1	一人ひとりが安心して過ごせる環境作りを心掛けている	45	33	22	0
2	自然との触れあいを大切にしている	56	22	11	11
3	四季に応じての保育室の環境を整えている	45	22	22	11
4	保育室の温度、湿度、通風に配慮している	45	34	22	0
5	トイレや手洗いを清潔にしている	44	56	0	0
6	遊具やおもちゃ等 定期的に消毒を行っている	78	22	0	0
7	必要な場所に転倒防止対策をしている	45	44	11	0
8	発達に応じたおもちゃや道具を用意している	45	34	11	11
9	子どもの動線を考えて 道具や用具を配置している	56	22	22	0
10	個々の興味に合わせて、好きな遊びが出来るようにしている	45	22	33	0
11	戸外で公園などを利用し、地域に興味を持てるようしている	56	22	11	11
12	伝統的な行事を生活の中に取り入れている	56	33	0	11

〈保護者との関り〉

		高・・・中・・・低			
1	保育方針や内容を保護者に解りやすく説明している	45	22	33	0
2	個々の家庭の養育方針を理解している	33	56	11	0

3	送迎時や連絡ノートなど日常の情報のやりとりを大切にする	66	33	0	0
4	必要に応じて保護者と個別懇談を行っている	45	22	11	22
5	保護者との意見交換の機会を設けている	22	45	22	11
6	緊急時は電話で迅速な対応を取っている	67	11	11	11
7	家庭と協力し子どもの生活リズムがつけられるようしている	33	45	22	0
8	悩みや不安を話せるよう心を開いて対応している	45	44	11	0
9	保育参加など共通理解を得るための機会を設けている	56	22	11	11
10	全ての保護者に親しみを込めた挨拶や会話をするように心掛けている	80	20	0	0
11	子どもの体調不良など、連絡時の伝達方法に配慮している	78	22	0	0
12	苦情や要望には、謙虚に話を聞いて対応している	67	11	11	11

〈他の保育者との関り〉

		高・・・中・・・低			
1	園長やリーダー保育士を尊重し、良好な関係を築いている	60	40	0	0
2	園長やリーダー保育士の言葉を、素直な気持ちで受け入れている	80	20	0	0
3	報告や連絡、相談をすることを心掛けている	70	30	0	0
4	互いの状況や役割を理解し、協力や援助をしている	44	56	0	0
5	園が目指す目標に向けて互いに協力している	45	44	11	0
6	職員間で、保育内容の対話を日頃から重ねている	44	33	22	0
7	保育の向上を課題に見直しや改善を行っている	22	56	22	0
8	研修に行ったり報告を受けたり、互いに知識や技術の習得を図っている	20	40	30	10